

# 形容詞の種類と連体修飾のあり方について

張 舒鵬

## 形容词的种类与名词修饰的关系

張 舒鵬

### 論文摘要

本文参考宮島達夫(1995)和村上佳恵(2017),对日语中形容词作定语修饰名词时修饰部分与被修饰名词间的语义关系进行了整理。通过BCCWJ选取属性形容词(“大きい”“高い”等)、感情形容词(“嬉しい”“悲しい”等)和评价形容词(“面白い”“可愛い”等)共计29个词的实际例句并对其进行分析,观察各形容词在修饰名词时分别会呈现怎样的语义关系。观察发现,不同类型的形容词在修饰名词时,会呈现不同的对应语义关系,或其呈现的多寡不同。

### 目次

- |                       |                                               |
|-----------------------|-----------------------------------------------|
| 1. はじめに               | 5. 各形容詞における連体修飾タイプの分布                         |
| 2. 先行研究               | 5.1 「(1) 属性の持ち主」タイプについて                       |
| 2.1 形容詞の種類と先行研究       | 5.2 「(5) 属性概念タイプ、(6) 感情概念タイプ、(7) 事柄概念」タイプについて |
| 2.2 形容詞の連体修飾に関する先行研究  | 5.3 「(8) とき・状況」タイプについて                        |
| 3. 形容詞による連体修飾のタイプの再整理 | 5.4 「(10) その他」タイプについて                         |
| 4. 調査対象と抽出方法          | 6. 連体修飾タイプの分布から見る形容詞の種類の特徴                    |
| 4.1 調査対象              | 7. まとめ                                        |
| 4.2 実例の抽出方法           |                                               |



## 1. はじめに

形容詞には代表的な働きとして、名詞を修飾・限定する用法—連体修飾用法がある。(1)で示されるように、形容詞の連体修飾にはさまざまな場合がある。

- (1) a 速い車<sup>1</sup>に乗ってドライブをしたい。  
 b スピードの速い車に乗ってドライブをした  
 い。  
 c 車は速いスピードで海岸線を走っている。  
 d 故郷からうれしい手紙が来た。  
 e 故郷から手紙が来て、うれしい気持ちになっ  
 た。  
 f 風の強い時に焚火をすると危険だ。  
 g 人間はうれしい時にも涙を流すことがある。

(いずれも筆者による作例)

形容詞と被修飾名詞との意味の対応関係でみると、(1)aでは、「速い」が属性を表し、「車」が属性の持ち主を表す。一方、(1)cの場合、「スピード」が物事の属性の名称を表し、「速い」が属性の内容を表す。また、(1)dでは、「うれしい」が感情を表し、「手紙」は人間がそのような感情を抱いたときの対象を表すととらえてもいいし、一方で「その手紙が読み手をうれしい気持ちにさせる属性を持っている」という理解で、(1)aと同じように「属性—属性の持ち主」ととらえてもよさそうである。(1)eでは、「うれしい」が「気持ち」の内容を表す。さらに、(1)f, gでは、連体修飾節全体で、その時においてそのような状態または感情があるという意味を表す。

また、統語論的観点で見ると、(1)a, c, d, e, gは形容詞単独で名詞を修飾しているが、(1)b, fは「名詞＋ノ＋形容詞」の構造で名詞を修飾している。ただ、管見では、(1)bは「名詞＋ノ」を取り除いて「速い車」の形でも文が成り立つのに対して、(1)fでは「風の強い」全体が「時」にかかり、「風の」は必須要素である。

このように、形容詞の連体修飾のタイプは、形容詞の種類（いわゆる「属性形容詞」か「感情形容詞」か）

と名詞の種類と関わりを持っているようである。一方、形容詞の種類観点で見ると、形容詞の種類が違えば、被修飾名詞の種類も被修飾名詞との意味関係も違ってくると考えられるので、形容詞の連体修飾の在り方を考察することで、形容詞の各種類の特徴をより明らかにできると思われる。

本稿は異なる種類の形容詞 29 語（4 節に述べる）を研究対象とし、「現代日本語書き言葉均衡コーパス」（以下、BCCWJ と呼ぶ）による実例を用いて、形容詞の連体修飾の在り方を分析・考察する。具体的には、先行研究（2.2 節）を参考にしながら、形容詞と被修飾名詞の意味の対応関係のタイプを整理し（3 節）、各形容詞の対応関係タイプの分布（5 節）をまとめて、考察する。さらに、連体修飾における形容詞の種類ごとの特徴を考察する（6 節）。

## 2. 先行研究

2 節では、まず形容詞の分類に関する先行研究と、形容詞の連体修飾に関する先行研究を概観する。

### 2.1 形容詞の種類と先行研究

#### 2.1.1 国立国語研究所 (1972)

国立国語研究所（1972）は、単語の意味の違いと、語としてのふるまいの特徴の違いの観点で、形容詞を「属性形容詞」と「感情形容詞」に分けている。意味の面では、「大きい、白い、高い」などの属性形容詞は「ものや人の性質や状態、動きのようすなどを表わし、客観的な性質・状態の表現をなす」とし、「うれしい、懐かしい、いやな」などの感情形容詞は、「人間の主観的な感覚・感情を表わす」としている（p. 21）。語としてのふるまいの面においては、感情形容詞を属性形容詞から区別する第 1 の必要条件として、「それが感情の主体としての、人を主語にとりうるか否かという点である」<sup>2</sup>（p. 25）としている。ほかにも、「～がる」が付くかどうか<sup>3</sup>、「～くて（で）たまらない」と共起可能か<sup>4</sup>などの基準を用いて、属性形容詞と感

情形容詞のさまざまな特徴を示している。さらに、「こわい・にくらしい・淋しい・可愛い」などを挙げて、これらの形容詞は「ごく普通の用法の範囲内でも属性と感情の両面をあわせもっていて、両グループの中間に位置づけるのが妥当だと思われるようなもの」(p. 35)と述べている。

### 2.1.2 張(2016)

張(2016)は、形容詞の分類に関する先行研究を整理し、国立国語研究所(1972)などで中間的なものとされた形容詞(「面白い、怖い、かわいい」など)について、それらを「評価形容詞」<sup>5</sup>として、「属性形容詞」「感情形容詞」から独立させ、別立てする必要があると述べた。さらに、「評価形容詞」を別立てする根拠の1つとして、「思う」認識構文テスト<sup>6</sup>を用いて考察を行った。考察の結果、国立国語研究所(1972)において属性と感情の両面を持つとされるものは、「思

う」認識構文では感情形容詞との近接性が明らかになった。また、評価形容詞を形容詞の一分類として認めるためには、「思う」認識構文テストという1つの根拠だけでは説得力が足りず、「複数の構文テスト・基準を設定して、できるだけ多角度から評価形容詞としての特徴(典型的な属性形容詞・感情形容詞との異同)をより明確なものにしていく」(p. 104)と述べている。

本稿は張(2016)の精神を受けて、形容詞による連体修飾のふるまいを考察することによって、属性形容詞、感情形容詞、評価形容詞それぞれの特徴を明らかにしたい。

## 2.2 形容詞の連体修飾に関する先行研究

形容詞の連体修飾を取り扱う先行研究は、管見の限り、少ないようである。以下2点を紹介しておく。

表1 宮島(1995:17)による<形容詞+名詞>の諸形式(筆者により、一部修正<sup>9</sup>)

	かざり	かざられ	補語「Aの～いB」のA	補語のかざられに対する関係	例
1) 性質規定	一般	一般	なし		大きな人
2) 間接的性質規定	一般	一般	一般(固有名詞代名詞以外)	部分または属性	手の大きな人
3) 対象についての規定	きもちを表すもの	一般	人間・気持(固有名詞代名詞をふくむ)	主体またはそのきもち	彼の好きな本
4) 性質のあらわれ規定	人間の性質やきもちを表すもの	人間の部分や行動	なし		無邪気な笑い声いやな顔
5) きもち規定	きもちを表すもの	人間	一般(固有名詞代名詞も)	きもちの対象	寂しい人酒の好きな人
6) 内容規定					
1) 属性	性質を表す形容詞	性質を表す名詞	なし		白い色
2) きもち	一般	気持を表す名詞	なし		いやな気持
7) 状況の具体化	一般	時間など	一般(固有名詞代名詞も)	関係がうすい	彼の若い時

### 2.2.1 宮島 (1995)

宮島 (1995) は、形容詞の連体修飾を「<形容詞＋名詞>の諸形式<sup>7)</sup>」として、7つに整理している (表 1)。その際に、「形容詞 1 つ (または副詞的成分がついたもの) ＋名詞」か、または「名詞＋の＋形容詞＋名詞」(「A の～い (な) B」構造)<sup>8)</sup>かを分類の 1 つの条件としている。

「1) 性質規定」は「大部分のばあいがこれにあた」(p. 18) るとし、「長い衣」や「細い竹」などの例を挙げている。

「2) 間接的性質規定」では、「補語になるのは、部分または属性をあらわすものにかざられる」(p. 18) とし、「窓の明るい小部屋」(部分)、「肉の薄い胸」(材料)、「幅の広い机」(性質)、「情愛の厚い頼もしい方」(人間の精神活動)、「寝付の悪い身」(人間の行動)、「経験のない当時の私」(経験)、「自分に関係の深い部門」(関係) などの例 (pp. 14-16) を挙げている。

「3) 対象についての規定」では、「なつかしい丘」と「とおい丘」とを比較し、「なつかしい」は丘の性質というよりは丘についての人間の感情をあらわしている (p. 18) としつつ、「名詞をかざるという関係を問題にするかぎり、「なつかしい丘」を「しずかな丘」から区別して、ちがった範疇に入れなければならない根拠は、どうもみつからない」(p. 19) としている。しかし、さらに「若の花の好きな料理」「わたしのほしい本」など、「補語として固有名詞や代名詞が形容詞の前につく」例を挙げて、「客観的な属性というニュアンスがうすれて主体の感情という面がつよくなり」、「白い雲」や「しずかな丘」とはちがったわくにいい根拠が、かたちのうえにあらわれてくる」(p. 19) と述べている。補語の「若の花」「わたし」は、「料理」や「本」の属性が部分ではなく、「それらに対する感情のもちぬし」(p. 19) であるとしている。

「4) 性質のあらわれの規定」では、「無邪気な笑声」を「無邪気な少年」と比較し、後者が「性質規定」であるのに対し、前者は「その無邪気さがよくあらわれ

ている、という意味になる」(p. 19) と述べている。

「5) 気もち規定」は、実例が「すき～きらいのものがほとんど」であるとし、「編み物の好きな女」「文字に親しむ事の太嫌ひな葉子」の例を挙げている (p. 20、下線は著者によるもの)。

「6) 内容規定」では、「白い色」と「もう二度と現世で見ることはできないかのやうな悲壮な心地」(p. 21) の 2 タイプの例を挙げている。前者については、「白い」は、「色」のいくつかある属性のうちの 1 つをしめしているというのではなく、「色」という性質の内容そのものをしめしている」ということから、「内容規定という 1 つの範疇をたてることができる」としている (p. 21)。後者については、「気もちをあらわす形容詞のばあいには、やはり気もちをあらわす名詞がかざられになって内容規定の関係をつくる」(p. 21) と述べている。なお、前者を「1) 属性」とし、後者を「2) きもち」としている (p. 17)。

「7) 状況の具体化」では、「若い時」や「動物の若い時」「かれの若い時」などの例を挙げている。このタイプの特徴として、「若い時」が「若い女」や「長い時間」と比べて、補語が「代名詞でも固有名詞でも、自由につく」し、「動物」などの補語と「時」というかざられとの関係はきわめてうすい」と指摘している (p. 21)。

### 2.2.2 村上 (2017)

村上 (2017) は感情形容詞の連体修飾用法を考察するものであり、感情形容詞と被修飾名詞の意味関係を 7 つに分類している。

①<sup>10)</sup> [対象] は、「被修飾名詞が感情形容詞で表される感情を引き起こすもの」という関係である」とし、「悲しい思い出」「懐かしい人」「迷惑な漂着物」などの例を挙げている (p. 159)。さらに、被修飾名詞が「感情を引き起こすような属性を持っているということもできる」(p. 159) と述べている。

② [経験者] は、「被修飾名詞が感情形容詞で表さ

れる感情の持ち主」という関係である」とし、「不安な人」「心配な人」「大学の卒業生をほしい政府機関や国営企業」などの例を挙げている (p. 160)。

③ [とき] は、「被修飾名詞が、感情形容詞によって表される感情が存在するときに表す」という関係である」とし、「私がつらい時」(経験者が共起した例)「生きるのが辛いとき」(対象が共起した例)「どんなつらい時も」(経験者も対象も共起しない例)などを挙げている (pp. 160f)。

④ [内容] は、「被修飾部(形容詞または形容詞節)が被修飾名詞の内容を述べる」という関係である」とし、「悔しい気持ち」(形容詞による修飾)や「人に迷惑をかけるのがいやな性分」(形容詞節による修飾)などの例を挙げている (pp. 162f)。

⑤ [表出物] は、「被修飾名詞が「顔」「声」等であり、「被修飾名詞が、経験者が感情形容詞で表される感情を持っている時に、経験者から発せられる<sup>12</sup>ものである」という関係である」(p. 164)としている。さらに、被修飾名詞を「①顔・表情・目」「苦しい顔」「悲しい表情」など「②声・悲鳴・叫び・涙」「悲しい声」「うれしい悲鳴」など「③様子・ふり」「不安なようす」「平気なそぶり」などの3タイプに分けている (pp. 165-167)。

⑥ [相対補充] は、「寺村(1975)の連体修飾節の議論で見られた「相対補充」の関係である」としている (p. 168)。「不安な理由」や「助言者がほしいゆえん」の例を挙げ、「理由」「ゆえん」が感情の対象ではなく、「不安であるその理由」「よい助言者がほしいそのゆえん」という関係である」と説明している (pp. 168f)。

⑦ [その他] には、「主に、…被修飾名詞が「はず」「限り」「ぶん」等、いわゆる形式名詞の例が分類される」と述べ、「周囲の景観、自然環境とマッチしない形や色の建物が、目立てばいいという感じで建てられる日本の現状と比べると、羨ましい限りである」や「苦しい分、成長が早いのです」の例を挙げている (pp. 169f)。

### 3. 形容詞による連体修飾のタイプの再整理

2.2 では、形容詞の連体修飾を扱う宮島(1995)と村上(2017)を概観した。改めて両者の関係を見てみると、形容詞の種類に関しては、前者が形容詞全般を扱うのに対し、後者は感情形容詞のみを対象としている。分類する際に用いられる統語上の条件については、前者は「名詞+の」が形容詞につくかどうか(形容詞による修飾か、形容詞節による修飾か)を取り入れ、後者は寺村(1975)の「ウチの関係」「ソトの関係」を分類の基準にしている。したがって、両者の間で、内包がほぼ重なる(例えば宮島(1995)の「5」きもち規定と村上(2017)の「経験者」タイプもあれば、片方にしか存在しないタイプ(例えば宮島(1995)の「6」内容規定1)属性や村上(2017)の「相対補充」「その他」など)もある。

本稿は、宮島(1995)と村上(2017)の分類を参考にしながら、BCCWJから抽出した形容詞29語(第3節に述べる)の実例から観察された連体修飾の関係を(1)属性の持ち主、(2)感情主体、(3)感情の対象、(4)感情の表出物、(5)属性概念、(6)感情概念、(7)事柄概念、(8)とき・状況、(9)相対補充概念、(10)その他の10タイプに分類した。各タイプの名称は、「(10)その他」以外は、形容詞に対する被修飾名詞の意味的立場によるものである。以下、実例とともに見ていく。

#### 3.1 (1) 属性の持ち主

このタイプでは、形容詞または形容詞節が属性を表し、被修飾名詞が属性の持ち主を表す。形容詞の種類で言うと、(2)-(4)が属性形容詞の例で、(5)が感情形容詞の例で、(6)が評価形容詞の例である。宮島(1995)、村上(2017)でも指摘されているように、感情形容詞が物事を修飾する際に、本来人間それぞれが抱く感情から「個別一人」という含意が捨象され、あくまでも被修飾部分の物事が持つ、「人をそういう気持ち・感情にさせる」属性として解釈することができるので、「感情形容詞-その感情を引き起こす物事」



の例のほとんど<sup>13</sup>をこのタイプに入れた。このタイプは宮島(1995)の「1) 性質規定」と「2) 間接的性質規定」に対応し、村上(2017)の「対象」の多くに対応する。

- (2) 高い木の上から、下を見下ろすと痛快な気分になる。(河内美舟『がんばれ！ティエンくん』)
- (3) 最近、この地域で最もスケールの大きい未来プランが「新伊勢湾都市圏」構想だ。(久野万太郎『リニア新幹線物語』)
- (4) …愛社精神が旺盛でグループ意識の強い寺尾は、金融主導のグループ結束ではなく、情報というものを武器にしてかつての「栄光の復活」を本気で考えていたのである。(堺憲一『日本経済のドラマ』)
- (5) 縁日コーナーや工作コーナー・ゲームなど、楽しいイベントが盛りだくさんです。(『こうとう区報』)
- (6) なるほど、それは面白い考え方ですねえ。(内田康夫『三州吉良殺人事件』)

なお、形容詞1語<sup>14</sup>による修飾(例(2)(5)(6))をaタイプ、「名詞+ノ/ガ+形容詞」による修飾(例(3)(4))をbタイプに分けておく。aタイプは宮島(1995)の「1) 性質規定」に対応し、bタイプは宮島(1995)の「2) 間接的性質規定」に対応する。bタイプについてもう少し詳しく見ておく。

- (7) これに対して「スルバ」「バトゥータ」などは、テンポの速い二拍子系の舞曲であり、結婚式の演奏などではしばしばホラ／スルバ／バトゥータという組曲を構成する。(大津留厚ほか『民族』)
- (8) そのために多様な選手が多様なプレーの組み合わせを生み出せば生み出すほど得点のチャンスが増える。そこに身体が小さい者が有効な働きができる可能性が生み出されてくる。(龍村仁『地球をつつむ風のように』)

- (9) 小物を集合で見せるためには、テイストを揃えることと主役をつくることがポイント。主役候補となるのは、個性的なもの、あるいは思い入れの深いもの。(著者不明『おしゃれで素敵なインテリア』)

- (10) 大沼直衛は頭の廻転の早い伊根子がすっかり気に入っていた。(辻邦生『椎の木のほとり』)

(7)(8)の「テンポの速い」「身体が小さい」の部分から「名詞+ノ/ガ」を取り除いて、「速い二拍子系の舞曲」「小さい者」になっても、意味はほとんど変わらない。一方、(9)(10)の「思い入れの深いもの」「頭の廻転の早い伊根子」と「深いもの」「早い伊根子」とでは、意味がまったく異なる。(7)(8)のように、「名詞+ノ/ガ」の部分があってもなくても連体修飾節全体の意味が変わらないものをb-1タイプとし、(9)(10)のように、「名詞+ノ/ガ」をとると連体修飾節の意味が変わるものをb-2タイプとする。

### 3.2 (2) 感情主体

このタイプでは、形容詞が感情を持つ主体の感情を表し、被修飾名詞が感情の主体を表す。形容詞の種類は感情形容詞と評価形容詞である。このタイプは宮島(1995)の「5) きもち規定」と村上(2017)の「経験者」に対応する。

- (11) 「なーんか趣味わるーい！」言いながら、でもとっても嬉しい紗南だった。(高橋良輔『こどものおもちゃ』)
- (12) 活発に遊ぶのが好きな男の子もいれば、ままごとや人形遊びが好きな子もたくさんいます。(大美賀直子『B a b y - m o』)
- (13) そんなわけで、すでに所帯じみた大学院の五人と、箸が転んでもおかしい学部の五人との対照は、けだし絶妙であった。(永積昭『月は東に日は西に』)

修飾部分を統語論的にみると、修飾部分が形容詞1語のもの(例(11))と、形容詞節のもの(例(12)(13))があるが、後述のように、このタイプの実例数自体が極めて少なかったため、上の「(1)属性の持ち主」のように、さらにa・bタイプに分けないことにした。

### 3.3 (3) 感情の対象

このタイプには、下の(14)(15)などの例がある。

(14) ポルトガルは過去にイギリスとの関係が深かったせいか、イギリス人の好きなポルト・ワインはおそらくイギリス人がポルトガルから運んだものであろう。(財前宏『世界路地裏・食紀行』)

(15) 自分がとても好きな分野なのでこの内容を1年間学習できるのはとてもうれしい。  
(井上徳之ほか『スーパーサイエンススクール』)

被修飾名詞は「好き」という感情を引き起こすもので、この意味では上の(1)属性の持ち主タイプの被修飾名詞と同じである。しかし、形容詞節にはその感情を抱く主体が現れている。宮島(1995)に指摘されている通り、「…客観的な属性というニュアンスがうすれて主体の感情が強くなる」(p. 19)。ところで、宮島(1995)には言及されていないが、「～ニトッテ(ハ)」「～ニ(ハ)」の形で形容詞節に感情主体が現れるものとして、次のような例がある。

(16) 結局、その日は仕事をズル休みしてくれた。  
私にとってはうれしい朝寝坊事件だった。(大谷貴子『生きてるってシアワセ!』)

(17) それにもかかわらず、前回と同じ講談社フィロソフィアシリーズに本書を加えてくださったことは、著者には大変ありがたいことで、改めて池永さんに感謝したい。(佐伯啓思『現代日本のイデオロギー』)

(18) ぼくは自分にはなつかしい故郷や“原風景”

はない。(奥野健男『文学は死滅するか』)

これらの例でも、感情主体が明示されていることで、「個人一人」のニュアンスが捨象されえず、物事の属性としての解釈がされにくいと考えられる。したがって、「感情主体+ノ/ガ/ニ(ハ)/ニトッテ(ハ)+形容詞」の例はすべてこのタイプに入れた。したがって、本稿の(3)感情の対象タイプは、宮島(1995)の「3)対象についての規定」、村上(2017)の「対象」より指す範囲が広いことになる。

### 3.4 (4) 感情の表出物

このタイプでは、被修飾名詞が人間の「顔」「声」などで、形容詞が被修飾名詞から読み取る感情を表す。

(19) これを、嬉しい悲鳴といって片づけられるのだろうか(高橋昌規『警察署長の憂鬱』)。

(20) 悲しい顔をしても得なことはひとつもない。  
(宝彩有菜『人生が楽しくなるちょっとした考え方』)

(21) 「やれやれ」徳兵衛は哀れな顔をして死体を検分した。(高橋克彦『舐鬼九郎』)

(19)では、感情主体が発した「悲鳴」から「うれしい」という感情が表れている。(20)(21)では、感情主体の表情から「悲しい」「哀れに思う」という感情が感じ取られる。このタイプは宮島(1995)の「4)性質のあらわれ規定」と村上(2017)の「表出物」に対応している。

### 3.5 (5) 属性概念

このタイプには、(20)-(22)のような例がある。

(20) 一般市販車の場合、割れたりしている箇所が点検窓／ゲージの下限よりも高い位置であれ

ば、オイルに浸かっていないから、… (石橋知也『ロードライダー』)

(21) 切り下球で大きいサイズの球根は、切り花栽培用として利用しているが、小さい球根は利用していない。(末吉忠寿ほか『農耕と園藝』)

(22) 日産リバイバル・プランは、予想より早いスピードで、かつより深く掘り下げた形で進展しております。(板垣英憲『日産カルロス・ゴーンの世界制覇戦略』)

被修飾名詞の「位置」「サイズ」「スピード」はいずれも物事が有するさまざまな属性の名称である。それに対して、「高い」「大きい」「早い」はそれぞれの属性の内容を表す。このタイプは宮島(1995)の「6 内容規定 1) 属性」に対応する。

### 3.6 (6) 感情概念

このタイプには、(23)-(25) のような例がある。

(23) 何となく高校時代の山登りに還ったような嬉しい気分になって、強行軍になるかもしれぬ明日を前にしながらいささか飲みすぎた。(本多勝一『山とスキーとジャングルと』)

(24) … 1 日 1 個ずつファイルを作っていけば、途中で間違って消しちゃった、なんて悲しい思いをしなくてすむよ。(『小学六年生』)

(25) ドラクロワは、彼女のそうした口調に歪んだ優越感の悪臭を嗅ぎ取って不快になったが、そうした子供染みた表現の中にも若干の真らしい悲しみが窺われるような気がして、軽蔑するといふよりは少しく哀れな気分になった。(平野啓一郎『葬送』)

被修飾名詞の「気分」「思い」などは「きもち、感情」類の名詞で、形容詞「うれしい」「悲しい」などはその感情の中身、具体的な内容を表す。このタイプは宮島(1995)の「6 内容規定 2) きもち」、村上(2017)

の「内容」の一部(2.3.7 に述べる)に対応する。

### 3.7 (7) 事柄概念

このタイプには(26)-(28) のような例がある。

(26) boot はそれほど容量が大きい必要はありません。100MB もあれば十分でしょう。(吉田智彦ほか『Red Hat Linux 9 サーバー構築完全攻略』)

(27) 硬直時の肉は加熱調理しても硬くてまずいし、保水力が小さいため加熱損失が大きい。(青木正『新食品学総論・各論』)

(28) 断腸 腸がちぎれるほど悲しいこと。悲しみにたえないこと。(森鷗外『日本文芸鑑賞事典』)

(26)-(28) では、被修飾名詞は「必要」「こと」や「ため」<sup>15</sup>など、きわめて抽象的な事柄を表すものであり、修飾する形容詞節は、いわば体言化した形容詞述語文であって、しいて言えば、被修飾名詞の事柄の具体的な内容を示すと考えられる。このタイプは宮島(1995)には言及されておらず、村上(2017)では「[内容]の分類に、次の(29)を挙げているが、

(29) (37) 五十年前は二十四分の1で二十七枚、紙の使用量は文化のバロメータといった時代が懐かしい感じである。(『電子デバイス材料』)(p. 163、下線は原文通り、番号は筆者)

この例における「感じ」は感情主体の「きもち、感情」というより、客観的な意味合いを持つ「イメージ、印象」と解釈されやすいと考えられる。したがって、本稿では、(29) のような例を(6)感情概念ではなく、(7)事柄概念のほうに入れた。

### 3.8 (8) とき・状況

このタイプでは、被修飾名詞は「とき」「状況」「場合」などであり、形容詞または形容詞節はそのとき、その



状況に存在する物事の状態または人間の感情などを表す。連体修飾節全体で一つの状況を設定している。次の(30)-(34)がその例である。

- (30) 若い頃はお茶やみそ汁の味なんて、どうでもよかった。(天野正子『老いの万華鏡』)
- (31) でも、文字どおり、機械に不具合があったり、設定が間違っていたり、そういうことでうまくいかないというケースもあるから、ぜひ、おかしいときはテクニカルに積極的に聞いてくださいよ。(青田吉弘『情報化社会対話集情報化社会対話集』)
- (32) マイマイの毛は腹が立ったり、悲しい時や、うれしい時にも、ぐぐぐと上がってくる困りもの。(高樹のぶ子『クロワッサン』)
- (33) 途中、両側が切れ落ち、細くなる部分もあるので、風が強いときはアイゼンに履き替えた方が良い。(菊池哲男『スキーツアー』)
- (34) 現預金（換金可能性の高い有価証券等を含む）についても同様に、それが正味運転資本に含まれない性質のもので、余剰資金としての性質が強い場合は、評価日時点での残高を企業価値に加えるのが一般的である。(岩嶋泰三『企業価値創造ファイナンス』)

このタイプはそれぞれ、宮島（1995）の「7) 状況の具体化」、村上（2017）の「[とき]」の一部に対応しているが、二者と比べて、本稿の範囲は狭い。たとえば宮島（1995）は、次の(35)をこのタイプに入れている。

- (35) それは雲行きの荒い寒い日だった。(或 [前] 140) (p. 23、下線は原文通り、番号は筆者)

しかし、上の(30)-(34)と比べて、(35)は「その日は寒いという属性を持っている」というようにも解釈できると考えられる。本稿では、被修飾名詞が時を表す名詞でも、修飾部分はその属性を表すと解釈できる

例は前述の(1)「属性の持ち主」に入れている。ほかにも、

- (36) 講師からピアノの指導を受け、互いに意見の交流を図り、和気あいあいと楽しいひと時を過ごしています。(『広報つくばみらい』)
- (37) 気がつくと、すっかり おじいさんになっていて、ひとりぼっちの さびしい毎日でした。(みやざきひろかず『おぼけファクトリー』)

のような例があるが、上の(35)と同じく、(1)「属性の持ち主」ととらえる。

### 3.9 (9) 相対補充概念

このタイプは寺村（1975）における「相対補充節」の考えに基づいて分類を行っている。次の(38)-(40)がその例である。

- (38) 明石港は生簀のように小さい上に、港内に大きな洲があって、洲の上にも人家が密集している。(司馬遼太郎『甲賀と伊賀のみち、砂鉄のみち』)
- (39) そうすると、債務者や抵当権設定者が気の毒な反面、二番・三番の抵当権者は「棚からボタ餅式」に儲ける結果となるから、わが国の抵当制度の一つの欠陥である、と批判されている。(幾代通ほか『民法入門』)
- (40) ローンがあるのにホールインワンを出してしまっ、皆さんを招待することになり、出費が大変でした。嬉しい反面、何か被害にあった気分です(阪本亮一『成果が即上がる営業のコツ』)

被修飾名詞の「上」「反面」はかなり抽象度の高い名詞であるが、修飾部分はこれらと相対する概念の具体的内容を示している。(38)では、「小さい」がいわば「下」の具体的内容であり、「港内に大きな砂があっ

て、洲の上にも人家が密集している」が「上」である。また、(40)では、「うれしい」がいわば「正面」としての内容であり、「何か被害にあった気分である」が「反面」である。このタイプは宮島（1995）には言及されていないが、村上（2017）の「相対補充」に対応している。ただ、「反面」「上」は村上（2017）では形式名詞の例として「その他」に入れているが、本稿では上記のような理由でこのタイプに入れた。

### 3.10 (10) その他

上の(1)-(9)のタイプに収まりきらないものを(10)に入れた。次のような例がある。

- (41) ところが哀れなことに殆ど絵具の色が飛び、セザンヌの絵等は子供が勝手に絵具を塗りつぶしたようになっていた。（福山清隆『ヨーロッパ絵で見る歴史散歩』）
- (42) その意味においても、住宅金融公庫の存在意義は大きいはずである。（大下英治『小泉純一郎 vs. 抵抗勢力』）
- (43) 事実、私の経験でも、質問が出るのはうれしいもので、質問者にはとても親近感をもつもの

ですから…（佐藤義雄『「人脈」創る・育てる・活かす』）

- (44) マリアは巻き添えを食った形で、気の毒なかぎりであった（涙）。（北迷真ほか『鋼の錬金術師』解説』）

(41)では、「形容詞+ことに」全体で文に評価を下している。(42)-(44)における「～はずだ」「～ものだ」「～かぎりだ」は、統語論的には連体修飾によって形容詞にくっついていて、文の構造上、一つの形容詞述語文の外側に外接しているように捉えられる。(41)-(44)はいずれも文型として捉えられることが多く、形容詞対被修飾名詞の意味的關係がきわめて考えにくいものである。ただし、いずれも連体法接続によるもので、周辺的な物として、このタイプを立てた。このタイプは宮島（1995）には言及されておらず、村上（2017）の「その他」に一部対応している。村上（2017）では、「上」「反面」などを「その他」に入れているが、本稿では上記(9)相対補充概念に入れている。

以上、宮島（1995）と村上（2017）を踏まえながら、形容詞の連体修飾の関係を整理しなおした。三者の分類の対応関係は次の表3のようにまとめられる。

表3 本稿、宮島（1995）、村上（2017）における連体修飾タイプの分類の対応関係

宮島 (1995)	本稿	村上 (2017)
1) 性質規定	(1) 属性の持ち主 a	①対象
2) 間接的性質規定	(1) 属性の持ち主 b-1 b-2	①対象
5) きもち規定	(2) 感情主体	②経験者
3) 対象についての規定	(3) 感情の対象	①対象
4) 性質のあらわれ規定	(4) 感情の表出物	⑤表出物
6) 内容規定 1) 属性	(5) 属性概念	
6) 内容規定 2) きもち	(6) 感情概念	
	(7) 事柄概念	④内容
7) 状況の具体化	(8) とき・状況	③とき
	(9) 相対補充概念	⑥相対補充
	(10) その他	⑦その他

## 4. 調査対象と抽出方法

3節では、先行研究を踏まえながら、形容詞の連体修飾のタイプを再整理した。形容詞の種類と連体修飾のタイプの相関を考察するためには、種類別に調査対象となる形容詞を選定したうえで、BCCWJから一定数の実例を抽出し、各連体修飾タイプにおける出現割合を明らかにする必要がある。本節では、調査対象と実例の抽出方法について述べる。

### 4.1 調査対象

本稿では、張（2016）に挙げられた「評価形容詞」9語、属性形容詞・感情形容詞各10語の合計29語を考察対象とする。属性形容詞、感情形容詞は、国立国語研究所（1972:21-33）に挙げられた属性形容詞・感情形容詞の分類基準に従ったうえで、BCCWJにおいて使用頻度が上位の語を10語ずつ選んだ。考察対象の語は使用頻度が高い順に以下のように示しておく。

属性形容詞10語<sup>16</sup>：高い・大きい・強い・長い・早い・新しい・重要な・深い・若い・小さい  
感情形容詞10語：好きな・楽しい・嬉しい・つらい・寂しい・悲しい・恥ずかしい・苦しい・有り難い・懐かしい  
評価形容詞9語：面白い・可愛い・怖い・可笑しい・可哀想な・気の毒な・哀れな・喧しい・汚らしい

### 4.2 実例の抽出方法

上記形容詞の実例を次の手順で抽出した。

- ① 検索の設定は以下の通りである。  
検索対象：出版・新聞／雑誌／書籍  
（コア・非コア）  
図書館・書籍；特定目的・ベストセラー／広報誌／教科書（非コア）

長単位検索：

イ形容詞の場合：

キー：名詞（長単位検索）

前方条件1：語彙素－イ形容詞＋活用形－連体形

ナ形容詞の場合：

キー：名詞（長単位検索）

前方条件1：語彙素－だ＋活用形－連体形 前方条件2：語彙素－形状言<sup>17</sup>

- ② 検索して得られた例が100例を超えた語については、ランダムに選んだ100例を考察対象とした。用例数が100例以下の「喧しい」（49例）、「汚らしい」（20例）については、全用例を分析対象とした。ただし、分析対象を選ぶ際には、a. 翻訳作品、b. 会話文が方言のもの、c. 旧仮名遣いで書かれたもの、d. 時代小説・歴史小説の会話文、e. いわゆる慣用的表現（「長いこと」「気が強い人」「耳が早い人」など）をあらかじめ選別対象から外しておいた。

## 5. 各形容詞における連体修飾タイプの分布

各形容詞の実例を考察し、連体修飾のタイプの用法に該当する数を次の表3の通りに示した。「喧しい」「汚らしい」以外は100例ずつなので、数はそのまま全体に対するパーセンテージでもある。「喧しい」「汚らしい」に関しては、「用例数（割合）」の形で示した。以下、分布が特徴的な連体修飾タイプを見ていく。

### 5.1 「(1) 属性の持ち主」タイプについて

このタイプには、属性形容詞、評価形容詞、感情形容詞のいずれも多く分布するが、属性形容詞、評価形容詞は感情形容詞より多い。このことから、形容詞が名詞を修飾する場合、種類にかかわらず、被修飾名詞の属性を表すのが主な働きと言える。

表4 形容詞の各連体修飾タイプにおける分布

		(1)	(5)	(7)	(2)	(3)	(4)	(6)	(8)	(9)	(10)	合計
属性 形容詞	新しい	100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100
	深い	100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100
	重要な	99	-	-	-	-	-	-	-	-	1	100
	長い	98	-	-	-	-	-	-	-	-	2	100
	強い	91	-	4	-	-	-	-	4	-	1	100
	高い	87	2	7	-	-	-	-	2	-	2	100
	若い	85	-	-	-	-	-	-	15	-	-	100
	早い	82	5	5	-	-	-	-	4	1	3	100
	大きい	75	1	17	-	-	-	-	4	1	2	100
	小さい	64	1	5	-	-	-	-	28	1	1	100
評価 形容詞	汚らしい	20(100%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20
	可愛い	98	-	-	-	-	-	-	-	-	2	100
	喧しい	46(94%)	-	1(2%)	-	-	-	-	2(4%)	-	-	49
	哀れな	93	-	-	-	-	1	1	-	-	5	100
	面白い	90	-	-	-	-	-	-	-	-	10	100
	可哀想な	83	-	-	-	-	1	1	-	-	15	100
	怖い	79	-	-	1	-	3	4	3	1	10	100
	気の毒な	74	-	-	-	-	-	3	1	1	21	100
	可笑しい	67	-	11	1	-	-	1	2	-	18	100
感情 形容詞	懐かしい	89	-	-	-	3	-	8	-	-	-	100
	楽しい	88	-	-	-	1	-	2	-	-	9	100
	苦しい	77	-	1	-	-	3	6	6	-	7	100
	好きな	68	-	-	11	19	-	-	1	-	1	100
	悲しい	61	-	1	-	1	9	11	7	-	10	100
	恥ずかしい	61	-	-	-	1	2	18	-	-	17	100
	つらい	57	-	1	1	-	-	13	9	3	12	100
	嬉しい	54	-	-	2	10	2	5	4	2	21	100
	寂しい	50	-	-	6	-	2	18	4	-	20	100
	有難い	46	-	-	-	5	-	1	1	1	46	100

(1) = 属性の持ち主 (2) = 感情主体 (3) = 感情の対象 (4) = 感情の表出物 (5) = 属性概念  
 (6) = 感情概念 (7) = 事柄概念 (8) = とき・状況 (9) 相対補充概念 (10) その他

ところが、同じ「属性の持ち主」関係でも、内実が違うようである。3.1 では、修飾部分の統語論的特徴によって、さらに a タイプ、b-1 タイプ、b-2 タイプに分けていたが、表4の(1)を3タイプに分けてさらに詳しく見ておく(表5)。

表5から分かるように、「可笑しい」以外の評価形容詞、感情形容詞には b-1、b-2 タイプの連体修飾がほぼ存在しないのに対して、属性形容詞の多くは、

b-1、b-2 の形で属性を表し、名詞を修飾している。

(45) 身長の高い者であれば、容易に上の位置を奪うことができますから、この技を薦めていたようです。(平川信夫ほか『月刊剣道日本』)

(46) 万一の場合、保証手形で保全しようと考えているのだ。猜疑心の強い天野会長の考えそうなことである。(梁石日『裏と表』)

表5 (1) 属性の持ち主の a, b-1, b-2 タイプの分布

	新しい	重要な	深い	長い	強い	高い	早い	大きい	若い	小さい
a	100	99	82	94	76	49	69	49	85	57
b-1	-	-	1	2	-	3	8	10	-	1
b-2	-	-	17	2	15	35	5	16	-	6
合計	100	99	100	98	91	87	82	75	85	74
	汚らしい	可愛い	喧しい	哀れな	面白い	可哀想な	怖い	気の毒な	おかしい	
a	20	94	43	93	90	83	79	74	46	
b-1	-	-	-	-	-	-	-	-	21	
b-2	-	4	3	-	-	-	-	-	-	
合計	20	98	46	93	90	83	79	74	67	
	懐かしい	楽しい	苦しい	好きな	悲しい	恥ずかしい	つらい	嬉しい	寂しい	有難い
a	89	86	77	68	61	61	57	51	50	46
b-1	-	2	-	-	-	-	-	3	-	-
b-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	89	88	77	68	61	61	57	54	50	46

(47) 頭のおかしい人間が、新聞記者などにはなれないでしょう（今野敏『レッド』）

(48) 今年らしさを取り入れるなら、傘のワンポイントがかわいいトップスに、ニッカボッカを合わせて、さりげないトラッドを演出。（Horomi Nakajima『PS』）

(49) この竹は変わった竹で、一本ですが二本に見え、時代を経て味わい深く、『寒山』の銘もうれしい花入です。（武内範男『四季の茶花を楽しむ』）

(45)(46) が属性形容詞の例で、(47)(48) が評価形容詞の例で、(49) が感情形容詞の例である。属性形容詞の多くは「名詞＋ノ／ガ」とくっついて、さらに事物の属性的意味を持つコロケーションを作るが、評価形容詞、感情形容詞の場合、「頭の可哀しい」のような熟語化したもの以外は、「名詞＋ノ／ガ＋形容詞」の組み合わせはかなり臨時的で、属性的意味が認められにくい。表5に見る分布の差はこのようなことから来たものと思われる。

## 5.2 「(5) 属性概念タイプ、(6) 感情概念タイプ、(7) 事柄概念」タイプについて

それぞれの数自体は多くないが、(5) 属性概念タイプには属性形容詞の例（例 (50)）、(6) 感情概念タイプには感情形容詞の例（例 (51)）と評価形容詞の例（例 (52)）が観察された。さらに、(7) 事柄概念タイプには三者の例（例 (53)-(55)）がいずれも観察されたが、属性形容詞の例が多い。

(50) 切り下球で大きいサイズの球根は、切り花栽培用として利用しているが、小さい球根は利用していない。（末吉忠寿ほか『農耕と園藝』）（例 (21) 再掲）

(51) …1日1個ずつファイルを作っていけば、途中で間違っ消しちゃった、なんて悲しい思いをしなくてすむよ。（『小学六年生』）（例 (24) 再掲）

(52) その事件以来、殿様に拝謁を仰せ付かった者は誰でも心中に気の毒な思いをした。（谷崎潤一郎『武州公秘話』）



- (53) また、男性同士よりも女性同士の方が会話の際の対人距離が小さいことが明らかとなっている(青野, 1979; 井原, 1981)。(和田実『青年心理学への誘い』)
- (54) 周りの女の子たちの相手をするうち、隣に座る桐堂の様子がおかしいことに気づいた。(藤森ちひろ『甘い罪の果实』)
- (55) この病院の経営が苦しいことは、ほくにもわかっていて。(五木寛之『凍河』)

(5) 属性概念タイプに属性形容詞の用例が観察され、(6) 感情概念タイプに感情形容詞の用例が観察されたが、形容詞のそれぞれの語彙的意味によるものだと考えられる。一方、評価形容詞の例が「(6) 感情概念タイプ」に観察されたが、このことは、一部の評価形容詞の語彙的意味に、感情的意味合いが含まれることによると思われる。(7) 事柄概念タイプの用例は属性形容詞の一部の形容詞と評価形容詞の「可笑しい」に多く見られた。

### 5.3 「(8) とき・状況」タイプについて

このタイプには、属性形容詞の例と感情形容詞の例が多く観察された。

- (56) 途中、両側が切れ落ち、細くなる部分もあるので、風が強いときはアイゼンに履き替えた方が良い。(菊池哲男『スキーツアー』)(例 (33) 再掲)
- (57) 小さいときは何になりたかった？(スガシカオ『対談上手』)
- (58) 若い頃はお茶やみそ汁の味なんて、どうでもよかった。(天野正子『老いの万華鏡』)(例 (30) 再掲)
- (59) マイマイの毛は腹が立ったり、悲しい時や、うれしい時にも、ぐぐぐと上がってくる困りもの。(高樹のぶ子『クロワッサン』)(例 (32) 再掲)

しかし、属性形容詞の用例はもっぱら「小さい」(例 (57)) と「若い」(例 (58)) に集中している。明示されていないが、例 (57) は「あなたが小さいとき」、例 (58) は「私が若いころ」のように、人間を表す補語をつけることができる。また感情形容詞の例 (59) も、「マイマイが悲しいとき」「マイマイがうれしいとき」のように、感情主体を表す補語を補うことができる。このように見ると、「(8) とき・状況」タイプに現れやすいかどうかは、形容詞の種類によるのではなく、語彙的意味が人間の状態・感情を表すかどうかに関係しているようである。ただし、本稿で集めたこのタイプの実例数自体が少ないため、詳しい考察は今後の課題としたい。

### 5.4 「(10) その他」タイプについて

このタイプに該当する実例は、属性形容詞のもの(例 (60)) が少なく、評価形容詞の例(例 (62)(64)) と感情形容詞の例(例 (61)(63)) が多い。

- (60) しかも、もっと重要なことには、自首減軽という制度そのものから考えてみても、捜査当局の手数を省き…(日高義博ほか『新刑法教室』)
- (61) 悲しいことに、肝心なことは大抵、後から気づく。(沢井鯨『プリズナー・イン・プノンペン』)
- (62) 奥さんの姿が見えないことは、気になっていたが、結核で長期療養とは、気の毒なことだ。(志賀貢『女医彩子の事件カルテ』)
- (63) イヤな会社もいざ辞めるとなると、ちょっぴり寂しいもののだけれど、もう後戻りはできない。(日向咲嗣『おいしい失業生活マニュアル』)
- (64) だから、そういう意味でも『金融庁』なんてちゃんちゃらおかしいわけ。(佐高信『官僚国家＝日本を斬る』)

このタイプに評価形容詞の例と感情形容詞の例がかなり多く観察された。被修飾名詞は、(60)-(62) の「～ことに／だ」や (63) の「～ものだ」のような形式体

言が多い。今後、「～ことに」「～ことだ」「～ものだ」などを考察する際の課題としたい。

## 6. 連体修飾タイプの分布から見る形容詞の種類の特徴

表4と表5からわかるように、形容詞の種類によって、作りうる修飾関係のタイプが異なり、用例数の割合が異なる。

属性形容詞の用例は「属性の持ち主」に集中している。語によって、修飾部分が「名詞+ノ/ガ+形容詞」の構造をとるもの(b-1, b-2タイプ)も多い。

感情形容詞の用例は、「属性の持ち主」タイプは多く観察されるが、割合は属性形容詞と評価形容詞ほど高くない。一方、「感情主体」「感情の対象」「感情の表出部」「感情概念」などのタイプの修飾節に現れるので、用例数は多くないが、連体修飾タイプのバリエーションが多い。

評価形容詞の用例は、属性形容詞と同じように、多くの用例が「属性の持ち主」タイプに集中している。しかし属性形容詞と違い、b-1, b-2タイプの例が少な

い。また、一部の評価形容詞には、感情形容詞と共通する「感情の表出部」「感情概念」タイプの用例が見られた。

このように、形容詞は連体修飾において、その種類の違いによってそれぞれのふるまい、特徴を見せていると考えられる。このことは、張(2016)における「評価形容詞を属性形容詞と感情形容詞から別立てする立場」に積極的な根拠を提供したと考えられる。

## 7. まとめ

本稿では、宮島(1995)と村上(2017)を踏まえながら、形容詞による連体修飾における修飾部分対被修飾名詞の意味関係を整理した。その上で、属性形容詞、感情形容詞、評価形容詞形29語の実例を分析し、それぞれの語がどのタイプの連体修飾タイプに現れるかを観察し、分布表にまとめた。考察から、形容詞が連体修飾を行う際に、形容詞の種類ごとに異なるふるまいを見せることが分かった。

今後の課題として、形容詞の語数と実例数を増やし、より緻密な考察を行いたい。

## 参考文献

- 国立国語研究所(1972)『形容詞の意味・用法の記述的研究』秀英出版  
 張舒鵬(2016)「『評価形容詞』の設定―「思う」認識動詞構文による試案―」『東京外国語大学日本稿教育年報』20 東京外国語大学日本専攻  
 寺村秀夫(1975)「連体修飾のシンタクスと意味―その1―」『日本語・日本文化』4 大阪外国語大学留学生別科(『寺村秀夫論文集1―日本語文法編―』1992 くろしお出版)所収)  
 宮島達夫(1995)「形容詞の名詞かざり」『現代日本語研究』2 大阪大学現代日本学講座  
 村上佳恵(2017)「連体修飾用法の感情形容詞と被修飾名詞の意味関係―うれしい人、うれしい話、うれしい悲鳴―」『感情形容詞の用法 現代日本語における使用実態』笠間書院

## 使用データ

『現代日本語書き言葉均衡コーパス』国立国語研究所(<https://chunagon.ninjal.ac.jp/bccwj-nt/search>) (最終確認日: 2018年8月30日)

## 注

- 1 例文の下線は断りのない限り全て筆者による。
- 2 国立国語研究所(1972)は、「私は自分の心に予期した感動が起こらないのが悲しかった。(野火 62)」「佐助はさう言ふ春琴を見るのが悲しかった。(春琴抄 205)」(p. 25)などの例を挙げ、「私」、「佐助」が「悲しい」という感情の主体を表すことから、「悲しい」は感情形容詞に分類されると述べている(p. 26)。
- 3 「接尾語「～がる」は、人間が、形容詞の表わしている内面的気持ちや状態にあることを外的な態度・言動などに示すことを意味するもの」(pp. 23f)と述べ、つくか否かはかなりよく感情形容詞か属性形容詞かに対応していると指摘している(p. 24)。
- 4 国立国語研究所(1972:22-23)によると、「うれしい、かなしい、いやな」など感情形容詞のほうは「～くて(で)たまらない」と共起可能である。
- 5 張(2016)では、先行研究を踏まえて、「哀れな、可笑しい、面白い、可愛い、可哀相な、気の毒な、汚らしい、怖い、喧しい」など9語を評価形容詞とした。
- 6 張(2016)は、認識動詞の1つである「思う」の文型である「〔[主体]ガ〕+〔対象〕ヲ+形容詞連用形+思う」と「〔[主体]ガ〕+〔対象〕ヲ+形容詞終止形ト+思う」(p. 100)を用いて、共起する形容詞を考察した。
- 7 宮島(1995)における「形式」は、「文法的な意味を決定するもの」(p. 12)であり、また、「単語の意味の種類も、単語のあいだの関係の1つの形式だ」(p. 13)としている。
- 8 宮島(1995)は、「Aの～い(な)B」の形には、「袖の長い衣」(「袖の」は「長い」にかかる)と「衣の長い袖」(「衣の」は「袖」にかかる)の2種類があるとし、分類の条件としているのはAが形容詞にかかるほうの「袖の長い衣」タイプで、前の名詞が後ろの名詞の属性か部分である(pp. 12f)。
- 9 分類に用いられる名称などの表記は一部揺れがある(たとえば「気もち規定」または「きもち規定」が、すべて原文通りにした。例の位置は、原文では「無邪気な笑い声」から「彼の若い時」まで1マスずつ上にずれていたため、原文の記述に従って入れなおした。
- 10 村上(2017)の7分類の番号は筆者によるものである。
- 11 2.2.2における村上(2017)の例は『現代日本語書き言葉均衡コーパス』によるものだが、紙幅の関係上、適宜「形容詞+被修飾名詞」の形や例文の一部で示すことにし、例文番号や出典は省略する。
- 12 「悲鳴」や「笑い」、「涙」などは経験者から「発せられるもの」としてとらえてよさそうだが、人間が本来持っている「目」や「顔」は「発せられるもの」としてやや考えにくい。しかし村上(2017)に述べられているように、いずれも「人間の感情を映し出すものである」(p. 167)。この意味で、本稿は村上(2017)のこの分類に賛同する。
- 13 感情形容詞節に感情主体の補語が共起するもの(後述)は(3)感情の対象に入れている。
- 14 「とても高い木」「一番楽しいイベント」「かなり面白い考え方」など、さらに副詞がつくものもあるが、副詞がなくても修飾関係が大きく変わらないので、便宜的に「形容詞1語による修飾」として考えておく。
- 15 「ため」は「その物事が原因、理由である」ことを示す形式名詞である。例(27)の「保水力が小さいため」は「保水力が小さいという原因で」と解釈でき、「保水力が小さい」は「ため」の具体的な内容を示している。
- 16 使用頻度が上位の属性形容詞として「多い」があるが、連体修飾をするときに「多くの国」「多くの家」のように、「多くの～」という形を用いることが多く、「注文の多い料理店」のような「多い～」の形が少ないので、考察対象から外した。
- 17 検索条件をこのように設定することによって、例えば「大きくない木」「楽しかった日々」「面白くなかったテーマ」など、いわゆる形容詞の「否定形/過去形/過去否定形」による連体修飾の実例がヒットしないことになるが、各語の例を100例のみ選ぶことにした本稿では、基本形の例のみを抽出した。ただ、一部の形容詞の否定形は、基本形には表れにくい意味が出るようになる。例えば、「伸恵(声・生天目仁美)はアナや茉莉ばかりかまい、それがおもしろくない美羽はついに泣きだしてしまう。(実著者不明TVガイド20版)」では、「面白くない」が「面白くないと思う」という意味になる。したがって、形容詞の形態の違いによる意味の違いにも目を配る必要があるが、今後の課題としたい。